

第14回 鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集

鋼構造分野における民間活力の活用

Proceedings of The 14th Symposium on Steel Structures and Bridges

日時：2011年8月4日

会場：法政大学（東京）

公益社団法人 土木学会

鋼 構 造 委 員 会

後援 日本鉄鋼連盟
日本橋梁建設協会
鋼橋技術研究会



B 1 1 0 8 0 0 0 B
土 木 図 書 館

| | |
|-----------|------------|
| 登録 番号 | 平成24年3月12日 |
| | 第 58576 号 |
| 社団法人 土木学会 | |
| 附属 土木図書館 | |

第14回 鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集

鋼構造分野における民間活力の活用

Proceedings of The 14th Symposium on Steel Structures and Bridges

日時：2011年8月4日

会場：法政大学（東京）

公益社団法人 土木学会

鋼 構 造 委 員 会

後援 日本鉄鋼連盟
日本橋梁建設協会
鋼橋技術研究会

第14回 鋼構造と橋に関するシンポジウム

序 文

土木学会鋼構造委員会では、委員会活動の紹介、活動成果の委員への還元と最新情報の発信、さらに研究者・技術者の交流を目的として、1998年より「鋼構造と橋に関するシンポジウム」を企画し、その講演内容を論文報告集として発刊しています。第14回シンポジウムでは『鋼構造分野における民間活力の活用』をテーマに取り上げ、海外における官民連携型事業、国外のプロジェクトの事例、および海外事情として韓国における民間活力の事例を中心に紹介します。最近の橋梁の建設事情の変化なかで、今回のテーマと内容は鋼構造技術者のみならず道路管理者にとっても有用なものと考えています。

当委員会は、土木分野の鋼構造を対象として、その学術および技術の発展のために、材料を含め、構造部材や構造システムの設計、製作、施工、維持管理にわたる調査研究活動を行っています。また、鋼構造を基礎とした合成構造の技術的発展を念頭においた調査研究活動も行っています。これらの委員会活動の成果は、出版委員会を通して「鋼構造シリーズ」や「鋼・合成構造標準示方書」として公表しています。また、シンポジウムや講習会を開催して、各小委員会の活動成果を土木学会会員の皆様へ還元しています。さらに、これらの成果を利用した継続教育にも積極的に取り組んでいます。土木学会技術者資格制度が2001年度に発足しましたが、その更新には継続教育を受けることが求められています。このシンポジウムも継続教育受講の一助となっています。

これまでのシンポジウムのテーマは以下の通りです。

- 第1回 『鋼橋の経済性と長寿命化を目指して』
- 第2回 『鋼橋の最新技術動向』
- 第3回 『環境に配慮した鋼構造物』
- 第4回 『合理化橋梁の最近の動向』
- 第5回 『鋼構造の技術基準類改訂の動向』
- 第6回 『鋼構造と橋の耐久性』
- 第7回 『鋼・合成構造における技術開発』
- 第8回 『海外における鋼構造と橋、実例と動向について』
- 第9回 『歴史的鋼構造物の保存と活用』
- 第10回 『鋼床版の損傷事例とその対策』
- 第11回 『鋼橋の予防保全への挑戦』
- 第12回 『鋼橋の大規模改造、補強および補修』
- 第13回 『鋼橋の新しい設計と施工』

いずれのシンポジウムにおいも、鋼構造と橋に関わる興味深いトピックスを、それぞれの分野における有識者に発表いただく形式で行いました。このような企画が鋼構造ならびに橋梁構造のさらなる発展に資することを願っています。

おわりに、本シンポジウムの開催に協賛いただいた日本鉄鋼連盟、日本橋梁建設協会、鋼橋技術研究会の関係各位に心からのお礼を申し上げます。

2011年8月4日
土木学会鋼構造委員会
委員長 小川 篤生

第14回鋼構造と橋に関するシンポジウム

実行委員会

| | | |
|-----|--------|-------------------------|
| 委員長 | 小川 篤生 | (西日本高速道路エンジニアリング関西 (株)) |
| 委員 | 芦塚 憲一郎 | (西日本高速道路 (株)) |
| | 穴見 健吾 | (芝浦工業大学) |
| | 伊藤 裕一 | (東海旅客鉄道 (株)) |
| | 越後 滋 | (川田工業 (株)) |
| | 加藤 真志 | (JFE技研 (株)) |
| | 金子 傑 | (パシフィックコンサルタンツ (株)) |
| | 酒井 修平 | (中日本高速道路 (株)) |
| | 佐々木保隆 | ((株) 横河ブリッジホールディングス) |
| | 杉本 一郎 | ((財) 鉄道総合技術研究所) |
| | 高木千太郎 | (東京都) |
| | 橘 吉宏 | (川田工業 (株)) |
| | 舘石 和雄 | (名古屋大学) |
| | 野上 邦栄 | (首都大学東京) |
| | 本間 宏二 | (新日本製鐵 (株)) |
| | 森 猛 | (法政大学) |
| | 柳沼 安俊 | ((株) 東京鐵骨橋梁) |
| | 山口 隆司 | (大阪市立大学) |
| | 若林 大 | ((株) 高速道路総合技術研究所) |

第14回 鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集

2011.8

土木学会

目次

| | | |
|--|------------------|----|
| 1 海外における官民連携型事業の推進について | 藤森祥弘 | 1 |
| 2 鋼構造分野における民間活力の活用と技術伝承 ファブの取り組み | 山根三弘, 中山岳史, 得地智信 | 13 |
| 3 米国における長大複合アーチ橋の建設 -フーバーダムバイパス コロラドリバー橋- | 加藤敏明, 高德裕平 | 27 |
| 4 民間資本でインフラ整備を推進する韓国のPPI紹介 | 呉日録, 慶甲秀 | 35 |

PROCEEDINGS OF THE 14TH SYMPOSIUM ON
STEEL STRUCTURES AND BRIDGES

2011.8

Japan Society of Civil Engineers

CONTENTS

| | | |
|---|---|----|
| 1 | Towards successful overseas infrastructure projects through public-private partnership Yoshihiro FUJIMORI | 1 |
| 2 | TECHNOLOGY TRANSFER AND UTILIZATION OF PRIVATE ENTITY'S EXPERTIES IN STEEL STRUCTURE INDUSTRY Mitsuhiro YAMANE, Takeshi NAKAYAMA and Tomonobu TOKUCHI | 13 |
| 3 | CONSTRUCTION OF LARGE COMPOSITE ARCH BRIDGE IN USA Toshiaki KATO and Yuhei TAKATOKU | 27 |
| 4 | INTRODUCTION ON PPI BASED PUBLIC SERVICE DELIVERY IN SOCIAL INFRASTRUCTURE IMPLEMENTED BY PRIVATE FINANCE IN KOREA IlRok OH and KabSoo KYUNG | 35 |